

II-1 アンケート調査用紙

文部科学省委託事業
改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関する調査・研究委員会

平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関するアンケート
平成 30 年度 12 月実施

本アンケートは、文部科学省委託事業 改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関する調査・研究によって、日本薬学会が行うアンケートです。薬学教育モデル・コアカリキュラムの性質上、ご回答いただく対象は6年制学科についてのみになります。

今回のアンケート調査は、次期コアカリの策定に関する本格的な作業に先立ち、改訂コアカリの導入による10の資質の浸透度や教育実践の度合いを領域毎に把握することを主目的としています。改訂コアカリが求める学習がどのように実践されているのか、改訂コアカリ導入により期待する人材が養成できているのかを体系的に調査します。また、来年度以降の更なる調査を効果的かつ効率的に行うための予備調査と位置づけ、すべての領域に対して同じ設問を問うことで各領域の質的な違いを明確にしようとしています。そのため、ご担当の領域によっては「明らかに該当しない」、「領域に設問がそぐわない」と感じられることもあろうかと思えます。回答の値の高低が、領域の重要性、学部教育の質を表すものではありませんし、第三者評価とも関連しませんので、率直にご回答いただき、調査の信頼性を高めることにご協力下さいますようお願いいたします。なお、アンケート結果につきましては大学名が特定できない形で集計し、本事業の報告書等に公表させていただきますことをご了承いただけましたら幸いです。

各大学に於かれましては、以下の点に留意いただき、回答をお願いします。

- ・ 本アンケートは、「教育全体に関するアンケート」と「各領域（A・B・C1～2・C3～4・C6～C8・D・E1～3・E4～5・F（事前実習のみ））に関するアンケート」があります。
- ・ 「教育全体に関するアンケート」は学部教育を統括する立場の方（学部長・学科長・教務委員長等）がご回答ください。
- ・ 「各領域に関するアンケート」はそれぞれの領域を担当する教員複数で協議の上、ご回答をお願いできれば幸いです。
- ・ 改訂コアカリキュラムに基づく教育を受けているのは現時点では1～4年次生となります。従って、「F薬学臨床」に関する内容は、いわゆる「事前学習・実習」までとなります。
- ・ すでに実施済みの内容に関しては、実施したことに基づいて、未実施の内容に関しては、今後の予定についてお答えください。

平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関するアンケート（全体）

平成 30 年度 12 月実施

★大学名

★ご回答者： 学部長 ・ 学科長 ・ 教務委員長 ・ その他（ ）

I 平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム（以降、改訂版コアカリ）導入後の貴学の学部教育についてお尋ねします。

問 1.1 学部教育は、貴学の独自の理念や特色に基づいたものとなりましたか？理由もお答えください。

なった 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 なっていない

【理由】

問 1.2 学部教育は、学生に大学卒業時に薬剤師としてふさわしい基本的な資質や能力を身に付けさせる教育となりましたか？理由もお答えください。

なった 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 なっていない

【理由】

問 1.3 貴学のカリキュラムは、生涯にわたって常に研鑽し、社会に貢献することができる教育となっていますか？理由もお答えください。

なった 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 なっていない

【理由】

問 1.4 貴学のカリキュラムは、大学独自の薬学専門教育を十分に配置できていますか？理由もお答えください。

できている 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 できていない

【理由】

問 1.5 貴学のカリキュラムでは、学生の研究能力を伸ばす教育（卒業研究など）が十分に実施できていますか？
あるいは、卒業時まで十分に実施できる計画ができていますか？理由もお答えください。

できている 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 できていない

【理由】

II 改訂版モデル・コアカリキュラム全体について伺います。（自由記述）

問 2.1 改訂前のコアカリと比較して改善されたと思われる点、あるいは改善するために行った工夫や取り入れた仕組みについて簡潔にお書きください。

問 2.2 改訂版コアカリを導入して新たに出てきた問題点はありますか？具体的にお書きください。

問 2.3 その他、改訂版コアカリ全般に関して、ご意見があればお聞かせください。

平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関するアンケート（領域別）

★大学名

★ご回答者（複数回答可）： 教授 ・ 准教授 ・ 講師 ・ 助教 ・ その他（ ）

★ご担当の領域に○をつけてください。

A ・ B ・ C1～2 ・ C3～5 ・ C6～C8 ・ D ・ E1～3 ・ E4～5 ・ F（事前実習のみ）

I I 平成 25 年度改訂薬学教育（以降、改訂版コアカリ）モデル・コアカリキュラムの基本理念である【薬剤師として求められる基本的な資質】について伺います。ご担当領域の講義・実習等が資質の醸成に役立つ程度としてあてはまる数字に○を付けてください。

| | 非常に役立つ | ある程度は役立つ | どちらともいえない | あまり役立たない | 全く役立たない |
|--|--------|----------|-----------|----------|---------|
| 医療の担い手として、豊かな人間性と、生命の尊厳についての深い認識をもち、薬剤師の義務及び法令を遵守するとともに、人の命と健康な生活を守る使命感、責任感及び倫理観を有する（薬剤師としての心構え） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 患者の人権を尊重し、患者及びその家族の秘密を守り、常に患者・生活者の立場にたって、これらの人々の安全と利益を最優先する（患者・生活者本位の視点） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。（コミュニケーション能力） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 医療機関や地域における医療チームに積極的に参画し、相互の尊重のもとに薬剤師に求められる行動を適切にとる（チーム医療への参画） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 生体及び環境に対する医薬品・化学物質等の影響を理解するために必要な科学に関する基本的知識・技能・態度を有する（基礎的な科学力） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 薬物療法を総合的に評価し、安全で有効な医薬品の使用を推進するために、医薬品を供給し、調剤、服薬指導、処方設計の提案等の薬学的管理を実践する能力を有する（薬物療法における実践能力） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 地域の保健、医療、福祉、介護及び行政等に参画・連携して、地域における人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する能力を有する（地域の保健・医療における実践能力） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 薬学・医療の進歩と改善に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を有する（研究能力） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する（自己研鑽） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 次世代を担う人材を育成する意欲と態度を有する（教育能力） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関するアンケート（領域別）

★大学名

★ご回答者（複数回答可）： 教授 ・ 准教授 ・ 講師 ・ 助教 ・ その他（ ）

★ご担当の領域に○をつけてください。

A ・ B ・ C1～2 ・ C3～5 ・ C6～C8 ・ D ・ E1～3 ・ E4～5 ・ F（事前実習のみ）

II 改訂版コアカリ導入後の状況について伺います。

★改訂版モデル・コアカリキュラムでの学習を受けている平成30年度1～4年生が相当します。

問 2.1 ご担当の領域における学生の能力の評価に関して、貴大学のカリキュラムで4年次終了までに実践できている程度としてあてはまるセルに○を付けてください。

| | 4 学年縦断 的に実施 し評価し ている | 3 限られた 学年で実 施し評価 している | 2 実施して いるが評 価が不十 分である | 1 不十分な 実施にと どまる | 0 実施して いない |
|---|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|------------------|
| 基本的な知識の習得 (客観試験、穴埋め試験などによる知識の再生を問う試験) | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 技能の習得 (実験・実習の観察によるチェックリスト式の評価など) | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 深い理解に基づいた思考・考え (多様な正解がありえる論述試験の実施、個人の考えを熟考して言語化することが求められるレポート、プロダクトの作成、口頭試問) | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| コミュニケーション(与えられたテーマに関するSGD や定型の回答に行きつくことが求められている議論における観察、チェックリストの評価) | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 主体的で対話的な深い学び (課題探索・問題解決学習において多様な考えをすり合わせるディスカッションでのパフォーマンス評価) | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 非臨床的な文脈での実践的・統合的な学び (実験実習による統合的な問題解決、ロールプレイ、シミュレーションによるパフォーマンス評価) | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 臨床的な文脈での実践的・統合的な学び (実際の患者、多職種と対話的にかかわる学びでのパフォーマンス評価) | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関するアンケート（領域別）

★大学名

★ご回答者（複数回答可）： 教授 ・ 准教授 ・ 講師 ・ 助教 ・ その他（ ）

★ご担当の領域に○をつけてください。

A ・ B ・ C1～2 ・ C3～5 ・ C6～C8 ・ D ・ E1～3 ・ E4～5 ・ F（事前実習のみ）

問 2.2 ご担当領域に関して、他の領域と連携しながら教育を実践している場合、その領域に○をつけてください。また、連携している内容についても記入してください。（ご自身の領域には斜線を入れてください）

| | 連携の有無 | 連携している内容、科目・学年など |
|---|-------|------------------|
| A 基本事項 | | |
| B 薬学と社会 | | |
| C1 物質の物理的性質 C2 化学物質の分析 | | |
| C3 化学物質の性質と反応 C4 生体分子医薬品を化学による理解 C5 自然が生み出す薬物 | | |
| C6 生命現象の基礎 C7 人体の成り立ちと生体機能の調節 C8 生体防御と微生物 | | |
| D 衛生薬学 | | |
| E1 薬の作用と体の変化 E2 薬理病態薬物治療 E3 薬物治療に役立つ情報 | | |
| E4 薬の生体内運命 E5 製剤化のサイエンス | | |
| F 薬学臨床（事前実習まで） | | |

問 2.3 改訂版コアカリ導入後の学生の変化について伺います。ご担当領域の講義・演習・実習等で、改訂前のカリキュラムの学生と比較して、その変化が最もあてはまる数字に○をつけてください。

| | 極めて向上している | 向上が感じられる | 変化はみられない | 低下している | 不明・観察の機会なし |
|------------------|-----------|----------|----------|--------|------------|
| ①講義への主体的な参加 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| ②実習への主体的な参加 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| ③学内外での自主的・自発的な行動 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| ④薬学以外の幅広い視野の獲得 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| ⑤自己管理能力の向上 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| ⑥協調性の向上 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| ⑦主体的で対話的な活動 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| ⑧規範的、倫理的な振る舞い | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| ⑨医療従事者としての心構え | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

平成 25 年度改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況に関するアンケート（領域別）

★大学名

★ご回答者（複数回答可）： 教授 ・ 准教授 ・ 講師 ・ 助教 ・ その他（ ）

★ご担当の領域に○をつけてください。

A ・ B ・ C1～2 ・ C3～5 ・ C6～C8 ・ D ・ E1～3 ・ E4～5 ・ F（事前実習のみ）

Ⅲ 改訂版モデル・コアカリキュラム全体について伺います。（自由記述）

問 3.1 ご担当領域に関して、改訂前のコアカリと比較して改善されたと思われる点、あるいは改善するために
行った工夫や取り入れた仕組みについてについて簡潔にお書きください。

問 3.2 ご担当領域で、改訂版コアカリを導入して新たに出てきた問題点がありますか？具体的にお書きく
ださい。

問 3.3 その他、改訂版コアカリ全般に関して、ご意見があればお聞かせください。